

# 第4期 2回目授業

～ 世界的陶芸家 中里隆先生～ 陶芸ワークショップ

授業の最初は、中里先生のデモンストレーションからです。  
実際に作品を作りながら、陶芸に使う道具の説明やこれまでの作陶活動についてなど優しい口調で話してくださいました。  
あっという間に出来ていく作品に、生徒のみなさん達からは歓声やため息が出たり、息をのんで見守る場面など素晴らしい時間を体験出来ました。



その後は、昼食をはさみ、実際に器を作るワークショップ体験です。  
今回は中里先生が4日前から徳島入りをして飯椀・深椀を作ってくださいました。授業は、そのお茶碗に生徒の皆さんが模様をつける形式です。印花といういろいろな形の道具やクギなどで、お椀の内側に好きな模様をつけます。各テーブルにインストラクターの先生方もついて下さり、みんなでワイワイ言いながらデザインを考え、作品を作りあげます。  
出来上がったお椀は中里先生のところに持っていき、底の高台を切ってもらい、白化粧土で刷毛目をつけてもらい完成です。最後に中里先生の手が加わることで、世界に1つしかないお椀となりました。



出来上がったお椀は乾かして、後日素焼き・釉薬付け・焼きをして完成となります。  
釉薬付け・焼きは希望の方に参加していただくことが出来ます。

